

# NO! リニア

No. 5 9

2013年2月27日

JR東海労働組合  
リニア反対プロジェクト

## 日米同盟強化のためにリニア! 葛西会長の野望はとことん続く!

2月23日『読売新聞』トップに、「米に日本のリニア」と題する記事が掲載されました。訪米中の安倍首相がオバマ大統領にリニアを売り込むというものです。有力視しているのがメリーランド州ワシントン～ボルティモア間ですが、距離はわずか64kmしかありません。

中国上海で空港と都心付近を結ぶリニア（常電導方式）が運行されていますが、人気がなく赤字経営が続いています。他の鉄道との相互乗り入れができないリニアは、利便性において非常に劣る乗り物です。恐らく、米国でリニアを採用したところで採算が取れるとは思えません。それでも葛西会長は、フロリダの次のターゲットを狙っていたのでしょ。安倍首相と強い人間関係を持つ葛西会長の野望は半端ではありません。もし、経営が成り立たなくなったら、売り込んだ側の責任が問わ

れます。JR東海にも火の粉は降りかかる恐れがあります。

この『読売新聞』には、「日米同盟強化の象徴の一つにしたい」と書かれています。つまり、軍事戦略のためのリニアなのです。平和を希求する私たちを足蹴にする行為といえるでしょう。

JR東海労は、リニアも戦争にも反対です。

### 米に日本のリニア

ワシントン～ボルティモア間

2月23日『読売新聞』



山梨県内の美濃線を走行するJR東海の「リニアモーターカー」(2009年)

超電導リニアは、超電導による磁力で浮上し、陸上交通機関最速の時速500km/hで高速走行するもので、JR東海などが開発を進めている。米国への協力については、日本側から、第三国への移転を禁じるこ

米国を訪問中の安倍首相は22日午後(日本時間23日未明)、ワシントンのホワイトハウスでオバマ大統領と就任後初めて会談する。首相は会談で、米国の高速鉄道整備計画に協力し、世界で唯一、日本が実用化段階にある「超電導リニアモーターカー」の技術を米側に提供する意向を表明する。複数の政府関係者が22日、明らかにした。米側も歓迎しており、会談で超電導リニアの米国建設に向けた基本合意を目指す。

### 首脳会談合意の公算

超電導リニアは、超電導

などを条件に技術提供し、米側が建設主体となる予定。日本の国際協力銀行(JBIC)が建設資金を融資することなども検討されている。

米国では高速鉄道11路線、総延長1万3700km、総費1300億(約1兆2000億円)で整備する計画が進められており、超電導リニア導入は、ワシントン～ボルティモア(メリーランド州)間(64km)が有力候補とされている。

米国で超電導リニアの建設が開始されれば、日本にとって海外への新幹線や原子力発電所などの社会基盤(インフラ)輸出を後押しする効果も期待されている。

日米首脳会談には、岸田外相、バイデン副大統領ら



リニアモーターカーの整備が有力視されている区間

### 同盟「復活」象徴

安倍首相がオバマ大統領との日米首脳会談で、最先端の超電導リニアの技術提供方針を表明するのは、日米同盟強化の象徴の一つにしたいとの考えからだ。